

# ガバメントクラウドの技術要件に係る市場調査結果の公表について

## 1. 概要

- ・実施期間:2023年5月18日から6月16日まで
- ・意見提出事業者数:17事業者

## 2. 主な意見

区 分	意 見 詳 細
共同提供	複数のクラウドサービス提供事業者(CSP)で連携提供する形態を認めていただきたい。
サードパーティ製品の活用	・サードパーティ製品を組み合わせることで機能を補完し、要件を充足する形態を認めていただきたい。 ・パートナー企業と共同での提供を想定したい。
ガバメントクラウドの仮認定	数年後に要件を満たすことを前提とした登録も容認いただきたい。
技術要件の抽象化	マネージドサービス等の機能は必要だと考えるが、要件の記載が特定のクラウドの機能をなぞらえており、要件の抽象化が必要と考える。
自治体先行事業で利用していない機能要件の削除	・先行事業で利用されている機能は限定的であり、今後、順次機能拡張を行っていく前提で「当面必要な機能」を自社サービスで満たすことを必須要件としてはどうか。 ・先行事業では、どのような機能で利用できるかを検証してきたが、現在となっては、利用実績も踏まえ、不要と思われる要件は整理してはどうか。
ソブリンクラウドの検討	・データの重要度等、運用ポリシー等に応じて、国内事業者が国内で運用するクラウドも併用することで、利用者の選択肢が広がり、更に発展できるのではないかと。 ・データ保護の観点からより厳格な制度設計・制度運用を行い、特に、データ主権等をコントロールできるクラウド(=ソブリンクラウド)の世界的な流れや情報漏洩時の説明責任を考慮する必要がある。
その他	SaaSベンダも対象となりえるよう要件を見直してほしい。